	高等専門学校	₹ │ 開講年月	芟   令	机06年度(	2024年度)	授	業科目	公共		
科目基礎情報		, , , , , , , , , , , ,	.	, ,	,					
科目番号	R06M3	03	科目区分		一般 / 必修					
授業形態	授業				単位の種別と単位		履修単位: 1			
開設学科	機械工				対象学年		3			
 開設期	前期				週時間数		2			
教科書/教材	(教科	書)谷田部玲生ほ	交 政治・経済』第	マン・経済』第一学習社						
担当教員	内田 龍	之介								
到達目標										
(1)現代の国際 (2)現代の国際	政治について 経済について	基礎的な内容を学 基礎的な内容を学	修し, そ 修し, そ	そのあり方につ そのあり方につ	いて考察する. (5 いて考察する. (5	定期試験 定期試験				
ルーブリック										
	理想的な到達	理想的な到達レベルの目安			ジルの目	l安	未到達レベルの目安			
評価項目1		題について理	現代の国際政治の基礎的理論と課 題について理解力が高い.			」がある		題について理解力がない.		
評価項目2		現代の国際経題について理		礎的理論と課 高い.	現代の国際経済の 題について理解力	D基礎的 Jがある	理論と課  ・	現代の国際経済の基礎的理論と課題について理解力がない.		
学科の到達目標	票項目との	関係								
学習・教育目標(										
教育方法等										
概要	本講義( 社会は) められ 社会を を設け とした(	本講義は国際社会における政治と経済の基礎的な理論と課題を学修し、そのあり方を考察することを目的とする。現代社会は情報化やグローバル化が急速に進展しており、学生もそれらを意識した学習、就業、進学、技術開発、生活が認められている。2年生対象の「政治・経済」においては日本の政治や法、経済を取り上げたが、本講義はとりわけ国際社会をテーマとする。国際社会に関する理論を教科書に沿って学ぶこと加えて、時事ニュースにも積極的に触れる機会を設ける。それにより「グローバルな視点を有した高専生」として諸課題を考察するだけでなく、解決策も考える契格								
授業の進め方・方	(授業の進め方) 基本的には講義形式で進めることとし、教科書の内容に応じて担当者より解説用のレジュメや資料を配布するほか、像資料の閲覧も行うことがある。 レポート課題(小レポート問題)を一度課す。また、アクティブラーニング課題(グループワークと報告)を一度課 ・ これらの課題に関するテーマや調査方法、執筆や報告の仕方については授業内で案内する。 (事前学習) 新聞、テレビ、インターネットを用いて日々のニュースに接しておくと、授業に関連する事柄が頻出するので事前おび事後の学習に役立つ。									
注意点	(自学上の注意)  不明な点があれば積極的に質問し,解消に努めること.									
 評価	(自学」 不明な!	上の注意) 点があれば積極的	に質問し		)ること					
(総合評価) 総合評価=中間討 上である場合に合 (再試験について	不明な;   	点があれば積極的  +期末試験の得点	₹×0.4+	ン, 解消に努め 小レポート課	題の評価点×0.1+			ング課題の評価点×0.1とし ている受講生のみを対象と		
(総合評価) 総合評価=中間討 上である場合に合 (再試験について	不明な。   	点があれば積極的 ++期末試験の得点 施する. ただし,	₹×0.4+	ン, 解消に努め 小レポート課	題の評価点×0.1+					
(総合評価) 総合評価=中間記 上である場合に合 (再試験について 総合評価が60点ま	不明な;    験の得点×0.4    とする.   う   	点があれば積極的 ++期末試験の得点 施する. ただし,	₹×0.4+ レポー	ン, 解消に努め 小レポート課	題の評価点×0.1+	題の両え			する.	
(総合評価) 総合評価=中間記 上である場合に合 (再試験について 総合評価が60点対 授業の属性・J	不明な;    験の得点×0.4    とする.   う   	点があれば積極的 ++期末試験の得点 施する. ただし,	₹×0.4+ レポー	ン, 解消に努め 小レポート課	題の評価点×0.1+	題の両え		ている受講生のみを対象と	する.	
(総合評価) 総合評価=中間記 上である場合に合 (再試験について 総合評価が60点対 授業の属性・J 図 アクティブラ・	不明な;    験の得点×0.4    とする.   う   	点があれば積極的 ++期末試験の得点 施する. ただし,	₹×0.4+ レポー	ン, 解消に努め 小レポート課	題の評価点×0.1+ ディブラーニング課  図 遠隔授業対応	題の両		ている受講生のみを対象と	する.	
(総合評価) 総合評価=中間記 上である場合に合 (再試験について 総合評価が60点対 授業の属性・J 図 アクティブラ・	不明な;     下明な;   下稿とする.   こ。   下稿の場合に実   でを上の区グ	点があれば積極的 ++期末試験の得点 施する. ただし, プ	₹×0.4+ レポー	ン, 解消に努め 小レポート課	題の評価点×0.1+ディブラーニング課  ☑ 遠隔授業対応	題の両え	方を提出し	ている受講生のみを対象と	する.	
(総合評価) 総合評価=中間記 上である場合に合 (再試験について 総合評価が60点対 授業の属性・J 図 アクティブラ・	不明な   下明な   下明な   終の得点×0.4   格とする。   下語の場合に実   で表して   一二ング   週   1週   2週	点があれば積極的	ā×0.4+ レポー 役割①	ン, 解消に努め 小レポート課	題の評価点×0.1+ ディブラーニング課 図 遠隔授業対応	題の両方 週ごと( 本講義(	方を提出し の到達目標 の進め方や	ている受講生のみを対象と	する.	
(総合評価) 総合評価=中間記 上である場合に合 (再試験について 総合評価が60点対 授業の属性・J 図 アクティブラ・	不明な;   験の得点×0.4  格とする  )  満の場合に実  優上の区グ   ニング   週   1週	点があれば積極的 + 期末試験の得点 施する. ただし, け ☑ ICT 利用 授業内容 ガイダンス	ā×0.4+ レポー 役割①	ン, 解消に努め 小レポート課	題の評価点×0.1+ ディブラーニング課 図 遠隔授業対応	題の両が過ごとの本講義の国際社会	方を提出し の到達目標 の進め方や 会の変遷に	ている受講生のみを対象と 実務経験のある教員に 学修方法について理解でき	する.	
(総合評価) 総合評価=中間記 上である場合に合 (再試験について 総合評価が60点対 授業の属性・力 図 アクティブラ・	不明な   下明な   下明な   終の得点×0.4   格とする。   下語の場合に実   で表して   一二ング   週   1週   2週	点があれば積極的	でである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ン, 解消に努め 小レポート課	題の評価点×0.1+ ディブラーニング課  ② 遠隔授業対応	題の両 週ごとの 本講義。 国際社会 国際法。	方を提出し の到達目標 の進め方や 会の変遷に の意義につ	ている受講生のみを対象と □ 実務経験のある教員に 学修方法について理解できる。	する.	
(総合評価) 総合評価=中間記 上である場合に合 (再試験について 総合評価が60点対 授業の属性・J 図 アクティブラ・	不明な   本明な   本部とする。   一二ング   週   1週   2週   3週	<ul><li>点があれば積極的</li><li>中期末試験の得点</li><li>施する. ただし,</li><li>位 ICT 利用</li><li>授業内容</li><li>ガイダンス</li><li>国際法の果たす</li><li>国際法の果たす</li></ul>	でである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ン, 解消に努め 小レポート課	題の評価点×0.1+ ティブラーニング課  図 遠隔授業対応	題の両が過ごとの本講義の国際社会国際法の国際機	方を提出し の到達目標 の進め方や 会の変遷に の意義につ 講の役割に	ている受講生のみを対象と  □ 実務経験のある教員に  学修方法について理解できる  いて理解できる  いて理解できる	する. こよる授業 る.	
(総合評価) 総合評価=中間記 上である場合に合 (再試験について 総合評価が60点対 授業の属性・力 図 アクティブラ・	不明な   本明な   本格とする。   一定   では   では	<ul><li>点があれば積極的</li><li>は・期末試験の得点</li><li>施する. ただし,</li><li>プロ ICT 利用</li><li>授業内容</li><li>ガイダンス</li><li>国際法の果たす</li><li>国際法の果たす</li><li>国際法の果たす</li><li>国際法の果たす</li></ul>	でである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ン,解消に努め -小レポート課 ト課題とアクラ	題の評価点×0.1+ ディブラーニング課  図 遠隔授業対応	題の両が 週ごとの本講義の 国際社会 国際機機 国際紛	方を提出し の到達目標 の進め方や 会の変遷に の意義につ 講の役割に 争と軍縮へ	ている受講生のみを対象と □ 実務経験のある教員に  学修方法について理解できる ついて理解できる。 いて理解できる。 ついて理解できる。	する. こよる授業 る.	
(総合評価) 総合評価=中間記 上である場合に合 (再試験について 総合評価が60点対 授業の属性・力 図 アクティブラ・	不明な   本明な   本格とする。   う)   大の場合に実   でを   できる。   できる。	点があれば積極的  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	でである。 (本名) 4 (本名)	o,解消に努め - 小レポート課 ト課題とアクラ	題の評価点×0.1+ ディブラーニング課  図 遠隔授業対応	題の両が過ごとの本講義の国際機利国際紛争	方を提出し の到達目標の進め方や 会の意義につ 講の役割に 争と軍縮へ 安全保障に	ている受講生のみを対象と  実務経験のある教員に  学修方法について理解できる  いて理解できる  いて理解できる。 ついて理解できる。 の取り組みについて理解で	する. こよる授業 る.	
(総合評価) 総合評価=中間記 上である場合に合 (再試験について 総合評価が60点対 授業の属性・ 図 アクティブラ・ 授業計画	不明な   下明な   下明な   下明な   下明な   「本記を 	点があれば積極的  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	② (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	<ul><li>人、解消に努め</li><li>・小レポート課</li><li>ト課題とアクラ</li><li>本の役割①</li><li>本の役割②</li></ul>	題の評価点×0.1+ ディブラーニング課  ② 遠隔授業対応	題の両が 過ごとの 本講義の 国際社会 国際機材 国際機制 日本の 日本の 日本の	方を提出し の到達目標 の進め方や で で の 意 義 と 軍 解 を 全 保 に で で で で る で の き る で の き る で の き る で に の も と の に る で る に る に る と の を と の を と の を と の を と の を と の を と の を と の を と の を と の を と の と の	ている受講生のみを対象とでは、実務経験のある教員にできる。いて理解できる。いて理解できる。の取り組みについて理解できる。のなり組みについて理解できる。	する. こよる授業 る.	
(総合評価) 総合評価=中間記 上である場合に合 (再試験について 総合評価が60点対 授業の属性・ 図 アクティブラ・ 授業計画	不明な                   	点があれば積極的  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	② (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	<ul><li>人、解消に努め</li><li>・小レポート課</li><li>ト課題とアクラ</li><li>本の役割①</li><li>本の役割②</li></ul>	題の評価点×0.1+ ディブラーニング課  図 遠隔授業対応	題の両が 過ごさの 本講義。 国際法は 国際総合 国際総合 国際の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本	方を提出し の到達目標的 の意義の宣義の宣義の宣義の宣義の宣義の宣義の宣義では からの意外では の意義では の意のでは の意名では の意名では の言語では の言語で	ている受講生のみを対象とでいる受講生のみを対象とでは、実務経験のある教員にできる。いて理解できる。いて理解できる。の取り組みについて理解できる。の取り組みについて理解できる。ついて理解できる。	する. こよる授業 る.	
(総合評価)総合評価=中間記上である場合に合(再試験について総合評価が60点対援業の属性・力でアイブラー授業計画	不明な   探の得点×0.4   A	点があれば積極的	②×0.4+ レポー 役割① 役割② 役割③ する日本 する日本	<ul><li>が解消に努める</li><li>・小レポート課</li><li>ト課題とアクラー</li><li>本の役割①</li><li>本の役割②</li><li>本の役割③</li></ul>	題の評価点×0.1+ ディブラーニング課  図 遠隔授業対応	題の両が 過ごさの 本講義。 国際法は 国際総合 国際総合 国際の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本	方を提出し の到達目標的 の意義の宣義の宣義の宣義の宣義の宣義の宣義の宣義では からの意外では の意義では の意のでは の意名では の意名では の言語では の言語で	ている受講生のみを対象とでいる受講生のみを対象とでは、実務経験のある教員にできる。いて理解できる。いて理解できる。の取り組みについて理解できる。の取り組みについて理解できる。ついて理解できる。	する. こよる授業 る.	
(総合評価) 総合評価=中間記 上である場合に合 (再試験について 総合評価が60点対 授業の属性・ 図 アクティブラー 授業計画	不明な   本明な   本部とする。   かまるにまである。   かまるにまである。   ではまでは、   ではまではまでは、   ではまでは、   ではまではまでは、   ではまではまでは、   ではまではまでは、   ではまではまではまでは、   ではまではまではまではまでは、   ではまではまではまではまではまではまではまではまではまではまではまではまではまで	点があれば積極的	では、 2 × 0.4 + レポート	<ul><li>が解消に努める</li><li>・小レポート課</li><li>ト課題とアクラー</li><li>本の役割①</li><li>本の役割②</li><li>本の役割③</li></ul>	題の評価点×0.1+ ディブラーニング課  ② 遠隔授業対応	題の両が とく さい とく きゅう とく かい はい	方を提出し の到達の意の表の の方と全国国際(1)の を対しては、 ののでは、 のの	ている受講生のみを対象とでいる受講生のみを対象とでは、実務経験のある教員にできる。いて理解できる。いて理解できる。の取り組みについて理解できる。の取り組みについて理解できる。ついて理解できる。	する. こよる授業 る.	
(総合評価) 総合評価=中間記 上である場合に合 (再試験について 総合評価が60点対 授業の属性・ 図 アクティブラー 授業計画	不明な   本の   本   本   本   本   本   本   本   本	点があれば積極的  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	② × 0.4 + レポー	<ul><li>一,解消に努め</li><li>一小レポート課</li><li>ト課題とアクラ</li><li>本の役割①</li><li>本の役割②</li><li>本の役割③</li><li>解説</li></ul>	題の評価点×0.1+ ティブラーニング課  図 遠隔授業対応	題の両に関する。 週ごとでは、 国国際は、 国国際のが、 国国際のが、 国国のでは、 国国のでは、 国国のでは、 国国のでは、 国国のでは、 国国のでは、 国国のでは、 国国のでは、 国のでは、 国のでは	方を提出し の対象の意のでは、 の対象のでは、 の対象のでは、 の対象のでは、 の対象のでは、 の対象のでは、 の対象のでは、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが	ている受講生のみを対象とでいる受講生のみを対象とでは、実務経験のある教員にできる。いて理解できる。いて理解できる。の取り組みについて理解できる。ついて理解できる。ついて理解できる。ついて理解できる。して理解できる。して理解できる。というについて理解できる。というについて理解できる。というについて理解できる。	する. こよる授業 る. きる.	
(総合評価) 総合評価=中間記 上である場合に合 (再試験について 総合評価が60点対 授業の属性・J 図 アクティブラ・ 授業計画	不明な   本の   本   本   本   本   本   本   本   本	点があれば積極的	でである。 (では、) (では、) (では	<ul><li>人、解消に努める</li><li>・小レポート課題とアクラー</li><li>本の役割①</li><li>本の役割②</li><li>本の役割③</li><li>解説</li><li>られる日本の役</li></ul>	題の評価点×0.1+ ディブラーニング課  図 遠隔授業対応	題の両が上できる。 週では、一のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	方を提出し の到達の意のと な国際にはいた の対象の意のと のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	ている受講生のみを対象と □ 実務経験のある教員に  学修方法について理解できる。 いて理解できる。 いて理解できる。 の取り組みについて理解できる。 ついて理解できる。 ついて理解できる。 ついて理解できる。 さいて理解できる。 あり方について理解できる。 あり方について理解できる。 あり方について理解できる。 ここいて理解できる。 ここいて理解できる。	する. こよる授業 る. きる.	
(総合評価) 総合評価=中間記 上である場合に合 (再試験について 総合評価が60点対 授業の属性・J 図 アクティブラ・ 授業計画	不明な   本明な   本の   本の   本の   本の   まで   である   である	点があれば積極的	後割① 役割② 役割③ する日本 解① ② てて求めら	<ul><li>人、解消に努める</li><li>・小レポート課題とアクラー</li><li>本の役割①</li><li>本の役割②</li><li>本の役割③</li><li>解説</li><li>られる日本の役</li></ul>	題の評価点×0.1+ ディブラーニング課  図 遠隔授業対応  設割①  設割②	題の両がといる。 週本国国国際際が会議を表現である。 のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	方を提出し の到達の意のと な国際にはいた の対象の意のと のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	ている受講生のみを対象とでは、実務経験のある教員にできる。 で理解できる。 で理解できる。 で理解できる。 で理解できる。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	する. こよる授業 る. きる.	
(総合評価) 総合評価=中間記 上である場合に合 (再試験について 総合評価が60点対 授業の属性・J 図 アクティブラ・ 授業計画	不明な   本明な   本の   本の   本の   本の   まの   ま   ま   ま   ま	点があれば積極的	後割① 役割② 役割③ する日本 解① ② てて求めら	<ul><li>人、解消に努める</li><li>・小レポート課題とアクラー</li><li>本の役割①</li><li>本の役割②</li><li>本の役割③</li><li>解説</li><li>られる日本の役</li></ul>	題の評価点×0.1+ ディブラーニング課  ② 遠隔授業対応  ② 遠隔授業対応	題の両がといる。 週本国国国際際が会議を表現である。 のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	方を提出しの一方を提出した。 かの会の意のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	ている受講生のみを対象とでは、実務経験のある教員にできる。 で理解できる。 で理解できる。 で理解できる。 で理解できる。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	する. こよる授業 る. きる.	
(総合評価) 総合評価=中間記 上である場合に合 (再試験について 総合評価が60点対 授業の属性・J 図 アクティブラ・ 授業計画	不明な   本明な   本の   もの   本の   本   本の   本   本   本   本   本   本   本   本	点があれば積極的  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	② でまる は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	<ul><li>が解消に努める</li><li>・小レポート課題とアクラー</li><li>本の役割①</li><li>本の役割②</li><li>本の役割③</li><li>解説</li><li>られる日本の役</li><li>られる日本の役</li></ul>	題の評価点×0.1+ ディブラーニング課  図 遠隔授業対応	題の両がご講覧をはいる。このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	方を提出し のか会の講角を全際では、 のででででででできます。 かでででできます。 かででできます。 のででできます。 のでできます。 のでできます。 のででできます。 のででできます。 のででできます。 のででできます。 のででできます。 のででできます。 のでででできます。 のででできます。 のででできます。 のででできます。 のでででできます。 のでででできます。 のででできます。 のでででできます。 のでででできます。 のでででできます。 のでででできます。 のでででできます。 のでででできます。 のでででできます。 のでででできます。 のででででできます。 のでででできます。 のでででででできます。 のででででできます。 のでででできます。 のでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	ている受講生のみを対象とでは、実務経験のある教員にでいて理解できる。いて理解できる。いて理解できる。の取り組みについて理解できる。ついて理解できる。ついて理解できる。ついて理解できる。あり方について理解できる。というについて理解できる。というについて理解できる。というについて理解できる。というについて理解できる。というについて理解できる。というについて理解できる。というな長について理解できる。というないで理解できる。というないで理解できる。というないで理解できる。というないで理解できる。というないでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいできる。というないでは、またいできる。というないでは、またいできる。というないでは、またいでは、またいでは、またいできる。というないできる。というないできる。というないでは、またいできる。というないできる。というないでは、またいできる。というないでは、またいできる。というないは、というないは、というないできる。というないきないできる。というないできる。というないできる。というないできる。というないできる。というないできる。というないできる。というないできる。というないできる。というないできる。というないできる。というないできる。というないできる。というないできる。というないできる。というないできる。というないできる。というないきる。というないできる。というないきないできる。というないいいできる。というないできる。というないできる。というないできる。というないできる。というないできる。というないできる。というないできる。といき	する. こよる授業 る. きる.	
(総合評価) 総合評価=中間記 上である場合に合 (再試験について 総分 第一個	不明な   本明な   本の   もの   本の   本   本   本   本   本   本   本   本	点があれば積極的	② て x め b c M S と M S	<ul> <li>が解消に努める</li> <li>・小レポート課</li> <li>ト課題とアクラー</li> <li>本の役割①</li> <li>本の役割②</li> <li>本の役割③</li> <li>解説</li> <li>られる日本の役割の</li> <li>おれる日本の役割の</li> </ul>	題の評価点×0.1+ ディブラーニング課  図 遠隔授業対応	題の両がご講覧をはいる。このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	方を提出し のか会の講角を全際では、 のででででででできます。 かでででできます。 かででできます。 のででできます。 のでできます。 のでできます。 のででできます。 のででできます。 のででできます。 のででできます。 のででできます。 のででできます。 のでででできます。 のででできます。 のででできます。 のででできます。 のでででできます。 のでででできます。 のででできます。 のでででできます。 のでででできます。 のでででできます。 のでででできます。 のでででできます。 のでででできます。 のでででできます。 のでででできます。 のででででできます。 のでででできます。 のでででででできます。 のででででできます。 のでででできます。 のでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	ている受講生のみを対象とでは、実務経験のある教員にでいて理解できる。いて理解できる。の取り組みについて理解できる。の取り組みについて理解できる。ついて理解できる。ついて理解できる。ついて理解できる。といるといて理解できる。といるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといると	する. こよる授業 る. きる.	

				人間の生涯における れまでの哲学者や労 および他者と共に生	る青年期の意義と自己 も人の考え方を手掛か きさていくことの重要	形成の課題を理 りにして、自己 性について考察	解し、こ の生き方 できる。	3	前7,前9,前 10,前14,前 15,前16		
基礎的能力	人文・社会 科学	社会	公民的分野	自己が主体的に参照 義などの基本原理を 説明できる。	回していく社会につい E理解し、基礎的な政	て、基本的人権 治・法・経済の	や民主主 しくみを	3	前1,前2,前 3,前4,前 5,前6,前 7,前8,前 9,前10,前 11,前12,前 13,前14,前 15,前16		
			現代社会の 考察	現代社会の特質や認用して探究し、そのを通して、世界の人について人文・社会	果題に関する適切な主 D成果を論述したり討 ∖々が協調し共存でき 会科学の観点から展望	題を設定させ、 論したりするな る持続可能な社 できる。	資料を活 どの活動 会の実現	3	前9,前 10,前11,前 14,前15,前 16		
	工学基礎	グローバリゼーション・異文化変化理解		それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。		学技術が きる。	3	前2,前3,前 4,前5,前 6,前7,前 8,前9,前 10,前11,前 12,前13,前 14,前15,前			
評価割合											
試験				課題(レポートorアクティブラー ニング)		合計					
総合評価割合 80							100				
基礎的能力 80			80		20		100				
13.1 3.1 3.130.7 3			0				0				
分野横断的能力			0		0 0						